

基盤医学特論
Tokuron Special Lecture

腸内細菌由来ポリアミンの制御と機能

Regulations and Functions of Polyamines Derived from Intestinal Microbiota

協同乳業株式会社研究所 技術開発グループ

Kyodo Milk Industry Co.,Ltd. Research Laboratories

松本 光晴 主幹研究員

Dr. Mitsuharu Matsumoto, Research Director



ポリアミン（主としてputrescine, spermidine, spermine）は全生物の細胞内に普遍的に存在し、細胞の増殖・分化、核酸保護、オートファジー促進など多岐に渡る生命現象に関与し、正常細胞の健全性維持に必須の化合物である。しかしながら、生体のポリアミン合成能は加齢に伴い減少する。そこで演者は、生体内ポリアミンの減少は老年病のトリガーと考え、「腸内細菌の産生するポリアミン量を増やし、生体の不足分を安定供給できれば、老年病が予防できる」と仮説を立て研究を進めてきた。

本講演では、一連の研究成果と共に、20年間の本研究で得た腸内細菌の代謝産物研究の実際やポリアミン研究の動向を併せて紹介する。

日時: 2020年11月27日(金)
午後5時から午後6時半

Date: Nov 27, 2020 (Fri), 17:00 – 18:30

場所: 医学部基礎研究棟3階 第1講義室
Venue: The 1st Lecture Room,
3rd Floor of the Medical Research Building

言語: 発表: 日本語 パワーポイント: 日本語
Language: Talk: Japanese, PowerPoint: Japanese

連絡先: 神経遺伝情報学 大野欽司 (秘書内線 2447)
Contact: Kinji Ohno, Neurogenetics (ext. 2447 for secretary)

注意: 事前連絡は不要です。

Note : No registration is required.

